

2019年10月1日

令和元年10月博士前期・後期課程入学式告辞

九州工業大学長 尾家祐二

ご入学おめでとうございます。

ここに入学式を挙げるにあたり、栄えあるこの日を迎えられました皆さんに、心からお祝いを申し上げます。そして、これまでのご努力に敬意を表します。九州工業大学に皆さんを迎えることができましたことは、この上ない喜びであります。教職員を代表してお祝い申し上げます。

なお、本日入学をされる62名の皆さんのうち、55名、約89%は、19の国や地域からの留学生の方達です。多くの国と地域からたくさんの方々が入学されることを、大変嬉しく思います。

最初に本学の歴史を簡単に紹介します。

これから皆さんが学ばれる九州工業大学は、1909年に開校した私立明治専門学校を前身としています。創立者は、安川敬一郎氏です。わが国の産業の礎となった北九州及び筑豊地域で安川電機の設立など様々な産業を興された経済界の重鎮です。

明治時代の日本は、産業面、経済面において、当時の世界の大国からは、大きく遅れをとっていたため、国家を支える人材育成が必要でした。安川先生は、「国家によって得た利益は国家のために使うべきである。」という信念から巨額の私財を投じ、我が国の産業の振興を支える技術者を育成する明治専門学校を創設されました。今年には創立110周年の年であります。

この110年の間に、世界も日本も大きく変化しました。多様な思考や技術が多くの革新的な事柄を可能にしてきました。これからのイノベーションを可能にする人材には、専門的知識、スキル、論理的思考力および分析力が必要です。そして、それと同時に、別の視点も指摘されています。デザインコンサルタント会社 IDEO の CEO である Tim Brown 氏は、彼の著書「デザイン思考が世界を変える」(早川書房)という本の中で、「イノベーションを技術に偏った視点でとらえるのは、従来と比べて持続可能とは言えない」、と指摘し、「直感で判断する能力。パターンを見分ける能力。機能性だけでなく感情的な価値をも持つアイデアを生み出す能力」なども必要であると述べています。そして、他者から学ぶことが重要であり、「アイデアが組織内を駆け巡り、変更、結合、進化を遂げると繁栄することが多い」と述べ、「いかなる個人よりも全員

の方が賢い」という言葉を紹介しています。新たな思考方法にも関心を持つことは大事です。

本学は、現在、産学連携および国際連携を推進しており、それらの活動を通じて、本学の教育研究を更に魅力あるものにしようとしています。企業及び海外の大学の方々、多様な国と地域から来ている留学生の皆さんなど、多種多様な人との交流の中で多くの相互作用が引き起こされることを期待しています。

大学での学習の本当の成果は、皆さんが本学修了後も自らの人生を楽しみながら活動を続けることができる可能性を最大化することです。この選択肢しかない、という状況にならないように、いつでも複数の選択肢を準備することができ、その中から自ら選択できるようになって欲しいと願っています。そして、時には、新たな選択肢を自ら生み出して欲しいと願っています。そのためには、このキャンパスで、多くの知識、スキルを学び、その知識やスキルを試し、さらには、学び続ける能力を身に付け、助け合える仲間を作りましょう。このキャンパスでは、それらを可能にする環境があり、機会があると思います。是非、最大限に活用してください。

最後となりましたが、入学された皆さんが、健康に十分留意され、知的好奇心を持ち続け、様々な学習機会と環境を活用し、意義ある大学院生活を過ごされ、本学を選択したことが良い選択となりますことを重ねて希望致しまして、告辞と致します。本日は誠にありがとうございます。